



努力しても成果が出ないと思っている人へ

1学期中間テストが終わりました。テストが返ってきていますが、目標としていた点数が取れたでしょうか。一生懸命がんばって勉強したのに、思うような結果が出ずに、「自分はダメなんだ」と落ち込むことはありませんか。勉強だけではありません。部活動でも同じような気持ちになっている人はいませんか。

次の文章は、私の前任校で道徳資料として使用したものです。

からっぽで透き通っていない花瓶の中に、コップの水を毎日何杯も入れていくとします。その小さなコップの水は、君たちの努力を表しています。1杯、2杯、…。水の注がれる音だけが聞こえています。

さて、この水が花瓶の中にたまっていく様子、努力の水がたまっていく様子は、まったくわからないし、見えません。しかし、毎日こつこつと努力の水を注ぎ続けると、ある日、突然、水はあふれ出します。つまり、努力した結果が目に見えてわかるようになる瞬間がやってきます。もし、花瓶のふちのところまで水が入っているのに、それに気づかず、「今まで一生懸命頑張ったつもりだけど、やっぱり無理だ」と、それ以上努力することをあきらめたら、どうなりますか。あと一杯の水を入れればあふれ出すのに、もったいないことです。

君たちの努力も同じです。目には見えませんが、必ず水はたまっています。あふれ出すまで、あきらめずに努力の水を入れ続けることが大切です。

これと同じようなことを、多くの人が語っています。「努力している間、自分の中にたまっている見えない力があるのだ、それが限界点までたまると、できるようになるのだ」

どうも、勉強や運動などが「できるようになる」というのは、体が少しずつ大きくなるのとは違い、ある日突然に「できるようになる」ようです。みなさんは、下の図Aのように、努力に比例して成果が徐々にあがっていくと思いませんか？しかし、現実には図Bのように、「できない」、「できない」、「できない」・・・が続いていて、あるとき急に「できるようになる」のです。ただし、何もしないで突然に「できるようになる」のではなく、「できない」と思っていた間に続けた努力が見えないけれど力となって蓄えられ、あるときそれがあふれ出す。そのときに、「できるようになる」のです。

この「できない」期間、言い換えると成果が目に見えない・実感できない期間に、「自分はダメだ」と思い込んでしまい、努力をやめてしまうことが多いのです。実に、もったいないと思いませんか。

